

ROLEX VINTAGE CHART

GMTマスター GMT MASTER

Ref.6542(1950's)
1957年に誕生したGMTマスターのファーストモデル。プラスチックベゼルや風防の雰囲気などまさにマニア垂涎。
相場:時価
★★★★★

Ref.1675(1960's~80's)
リュースガードの付いたセカンドモデル。約20年間生産された。赤青ベゼルと黒ベゼルの2種類がある。
相場:30~50万円
★★★

Ref.16750(1980's)
クイックチェンジカレンダー機能を搭載したCal.3075を搭載。アンティーク市場では数多く価格も手頃だ。
相場:20~40万円
★★★

Ref.16700(1980's)
新ムーブメントを搭載して登場したRef.16700も1999年にGMTマスターIIに統合される形で生産中止となった。
相場:20~30万円
★★

Ref.16710(現行)
1983年に短針を単独で動かせるGMTマスターIIが登場した。現在は赤青、黒、赤黒ベゼルの3種類がある。
定価:51万2400円
★★★

エクスプローラー I EXPLORER I

Ref.6150(1950's)
冒険者のために開発されたエクスプローラーIのファーストモデル。記念碑的モデルとしての価値は高い。
相場:時価
★★★★★

Ref.6610(1950's)
両方向回転巻き上げ式のCal.1030を搭載したセカンドモデル。'50年代スポーツロレックスの代表作でもある。
相場:50~70万円
★★★★

Ref.1016(1960's~72)
インデックスが金から白に変更されるなど、このモデルによってエクスプローラーのデザインが確立された。
相場:60万円台
★★★★

Ref.1016(1972~89)
リュースを引くと秒針が止まるバック機能が付いたRef.1016の後期モデル。人気はエクスプローラーのなかでもナンバーワン。
相場:80~150万円
★★★★★

Ref.14270(1990's)
ムーブメントがCal.1570からCal.3000に変更。価格は手頃だが、写真のブラックアウトは例外で80~90万円。
相場:20~30万円
★★★

Ref.114270(現行)
2001年にWブリッジの新型ムーブメントCal.3130を搭載して登場。基本デザインは従来とほとんど変わらない。
定価:43万8900円
★★★★

エクスプローラー II EXPLORER II

Ref.1655(1972~87)
鮮やかな24時間計を装備した大胆なデザインが特徴の初代モデル。アンティークファンの間では隠れた人気モデルだ。
相場:100~120万円
★★★★★

Ref.16550(1988~89)
約2年間だけしか製造されなかった希少モデル。とくに写真のアイボリーダイヤルはレア度も高く、相場は90~150万円。
相場:30~40万円
★★★★★

Ref.16570(現行)
デザインはRef.16550と同じだが、新ムーブメントが搭載されRef.番号も変更になった。文字盤は黒と白の2種類。
定価:50万1900円
★★★★

シードウェラー SEA-DWELLER

Ref.1665(1971~84)
プロ仕様ダイバーズとして登場。防水性能は水深610m。なかでも珍しい写真の赤シールドは90万円台の高値が付く。
相場:50万円台
★★★★

Ref.16660(1980's~81)
水深1220mへと防水性能がバージョンアップ。風防も強化プラスチックからサファイアクリスタルガラスに変更された。
相場:30~40万円台
★★★★

Ref.16600(現行)
1991年に登場。ムーブメントはCal.3035から3135へと変更になった。最強のプロダイバーズとして不動の地位を築く。
定価:52万5000円
★★★★

歴代のスポーツモデルは膨大なマーケットを形成

ロレックスは1926年に完全防水機構「オイスターケース」、1931年に全回転自動巻き機構「パーペチュアル」、そして1945年に日付表示機構「デイトジャスト」などの技術革新を重ね、いよいよ1950年代に特殊機能を装備したモデルを次々に発表する。これが1953年に登場した潜水時計「サブマリナー」をはじめとする「スポーツモデル」だった。現在でこそポピュラーなカテゴリーだが、当時にしてみればまったく未踏のジャンル。まさにロレックスの革新性、先見性を物語る、腕時計における新ジャンルの幕開けだった。これらのスポーツ

モデルは、それぞれ輝かしい歴史とワンランクを携えながら時代とともに進化し、現在に至るまで不動のロレックス人気のコアを形成している。ここでは「スポーツロレックス」人気6大モデルについて、それぞれ主要な歴史モデルを紹介した。これらのヴィンテージロレックスは、現在、膨大なアンティーク・マーケットを築いており、なかには1本500万円以上の価格で取引されているケースもある。これは他の時計ブランドではあり得ない状況なのだ。ヴィンテージロレックスの各歴史モデルの各論に入る前に、ロレックスのピクチャー・ギャラリーのため、そしてすでにベテランの貴方なら、おさらいのために、まずはこのヴィンテージ・チャートを俯瞰してみたい。

人気格付け ★★★★★

「スポーツロレックス」歴代モデルの人気格付けは、オスワルド・パトリック・バトリンツィ氏への取材に基づき、現在のマーケットでの取引価格を考慮して作成したもの。

ある特定のヴィンテージロレックスの価格は、その希少性とモデルに対するコレクターの情熱によって決定します。その頂点にあるのが、デイトナのポール・ニューマン・モデルということになるでしょうね。

サブマリナー SUBMARINER

Ref.6205(1950's)
'53年に登場した初代(Ref.6204)とはほぼ同時期に発表されたセカンドモデル。初期モデルはアンティーク市場でも珍しい。
相場:100万円台
★★★★★

Ref.6538(1950's)
Cal.1030を搭載した第2世代のなかでも、このジェームズ・ボンドモデルはレア度も高く、人気はダントツ。
相場:150万円台
★★★★★

Ref.5512(1960's~70's)
Cal.1570を搭載したクロノメーター仕様のモデル。ただし初期に少数生産されたノンクロノメーターは希少価値大。
相場:40~50万円台
★★★

Ref.5513(1960's~80's)
ノンクロノメーター・ムーブメントのCal.1520を搭載。長寿モデルで生産本数も多いため、手頃な価格で安定している。
相場:20~30万円台
★★

Ref.1680(1960's~80's)
1960年代中頃に登場したデイト付きモデル。サブマリナーの文字が赤い「赤サブ」はこのモデルの異端児。
相場:30~50万円台
★★★

Ref.16800(1980's)
クイックチェンジ・カレンダー機構を備えたCal.3035を搭載。風防もサファイアクリスタルへと変更された。
相場:30~40万円台
★★★★

デイトナ DAYTONA

Ref.6241(1960's)
黒文字盤の白目玉タイプ。S Sベゼル(Ref.6239)もあるが、人気は写真のプラスチックベゼルの方が高い。
相場:150~200万円
★★★★★

Ref.6264(1960's)
白文字盤の黒目玉タイプ。S Sベゼル(Ref.6262)もある。写真のエキゾチック・ダイヤルは300万円台の相場。
相場:200~250万円
★★★★★

Ref.6263(1970~87)
1970年にオイスターケースに変更された。このタイプのエキゾチック・ダイヤルは最も高く、相場は450万円台。
相場:200~300万円
★★★★★

Ref.6265(1970~87)
Ref.6263と同時期に発売されていたS Sベゼルタイプ。文字盤は黒マットに白目玉、その逆の2種類がある。
相場:200~300万円
★★★★★

Ref.16520(1988~2000)
ムーブメントが手巻きから自動巻き(エル・プリメロ)に変更。S Sの人気は概強く、現在の相場でも100万円は下らない。
相場:110~120万円
★★★★★

Ref.116520(現行)
2000年に自社開発の自動巻きムーブメントCal.1130を搭載した現行デイトナが登場。バリエーションも多い。
定価:80万8500円
★★★★★



ロレックスを極めた男が 6大スポーツモデルを 大胆格付けする

ワインの世界でも格付けがあり、それが一般的評価の基準となっているように、大胆にもわれわれ編集部はロレックスの人気スポーツモデルについて史上初の格付けを試みた。前出のオスワルド・パトリック・バトリンツィ氏にそれぞれの基準モデルをスバリ評価してもらったので、ロレックス選びの参考にしたい。